

## 8月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに、龍ヶ崎市コミュニティバス車内にかわいらしいネコの写真を展示する「走る美術館【ネコ編】」開催に向けた写真募集に関する情報提供です。

この事業は、日頃から関東鉄道竜ヶ崎線をはじめとする市内地域公共交通の活性化や利用促進などに、積極的に取り組んでいただいている「龍ヶ崎市地域公共交通活性化協議会」が主体となって行うもので、本年11月頃を目途に、地域の皆様から事前に応募された「ネコ」の写真をコミュニティバス車内に展示する予定とのことです。

車内に展示する「ネコ」の写真の応募期間は、9月7日から18日までの12日間となっております。

テーマは、特に限定されておらず、「我が家のかわいいネコを皆さんに見てもらいたい」「たまたまだけど素敵な写真が撮れた」など、猫が被写体となった写真であれば、どのような写真でも応募が可能となっております。

コミュニティバスの車内に展示された、かわいらしい猫の写真を通して、より明るく楽しい空気を生み出し、利用した方が和やかな気持ちになっていただくこと、さらには、地域住民の生活を支えるコミュニティバスを利用するきっかけづくりや愛着を持つきっかけになっていただければと考えておりますので、多くの方からの写真の応募をお待ちしております。

次に、県内初開催となる「土砂災害マイ・タイムライン作成講座」に関する情報提供です。

この講座は、台風に伴う大雨やゲリラ豪雨などが発生しやすくなる時期を迎える

にあたり、土砂災害から身を守れるよう、事前の防災行動計画を考えるために、土砂災害警戒区域にお住まいの住民の皆様や事業者様を対象として開催するものです。期日は8月29日土曜日、会場は、龍ヶ崎市文化会館「大昭ホール龍ヶ崎」となっております。

講師に、龍ヶ崎市気象防災アドバイザーである酒井 重典(さかい しげのり)気象予報士・茨城県土木部河川課の職員をお迎えし、気象や土砂災害に関するプロの視点からアドバイスをいただく予定です。

本講座の開催目的は、大きく分けて2つあり、1つ目は参加者に近年の豪雨災害の状況や自分の住んでいる場所の災害リスクを理解してもらい、危機感を持っていただくこと、2つ目は「土砂災害マイ・タイムライン」の作成を行うことで、自身の災害発生までの行動を整理し、有事の際に「自分の身は自分で守る」という意識をお持ちいただくことです。

本年、九州地方を中心に発生した「令和2年7月豪雨」をはじめとし、近年、全国各地で異常気象による土砂災害が発生しており、本市でも、平成25年の台風第26号や令和元年10月に発生した集中豪雨により、幸いにして人的被害は発生していませんが、がけ崩れなどが発生しています。

洪水などにおけるマイ・タイムライン作成は、県内でも広まってまいりましたが、防災・減災日本一を目指す本市では、今回、命を奪う可能性が高い「土砂災害」に着目しました。

市民の生命や財産をまもるため、日頃から災害に備え、万が一の際に、適切な避難行動が取れるよう、あらゆる災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指してまいりますので、記者の皆様取材も、ぜひよろしくお願いいたします。

次に、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対策を強化するための、

PCR 検査センター開設に関する情報提供です。

これまで、龍ヶ崎市医師会・茨城県と設置に向けた協議を進め、7月の記者会見の際にも設置に向けた進捗状況をご案内いたしました、「龍ヶ崎市地域外来・検査センター」、いわゆる「PCR検査センター」が、今月、8月下旬に開設できる見通しとなりました。

このセンターの運営主体は、茨城県の委託を受けた、一般社団法人龍ヶ崎市医師会となります。本市では開設に向け、全面的な支援を行い、県との調整や物品の手配などを行ってまいりました。

センターでは、登録医療機関での診察により、検査が必要と認められた方を対象に、曜日や時間を指定し、ドライブスルー方式で実施する予定となっております。

設置場所については、厚生労働省からの通知により、原則公開しないこととなっておりますので、報道機関及び市民の皆様のご理解をいただきますようお願いいたします。

本市では、龍ヶ崎市医師会と引き続き、更なる連携を図り、検査センターの運営をバックアップするとともに、地域における新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

以上が、本日の情報提供となりますが、最後に、新型コロナウイルス感染症に関連し、市民の皆様に改めてのお願いです。

全国各地で連日感染者が発生しており、クラスターの発生なども多く報道されておりますが、現時点で本市内における大規模な感染は発生していません。これは、市民の皆様の新型コロナウイルス感染拡大防止の真剣な取り組みのおかげであ

り、敬意を表します。

繰り返しのお願いとなりますが、「こまめな手洗い」、「マスク着用」や「密接しない」など、子どもたち、大人、高齢者を問わず、市民が一丸となり、引き続き、感染予防のための対策を徹底するようにお願いいたします。

また、感染した患者さんや家族の皆様などに心無い言動や行動がされているとの情報を耳にする機会があります。憎むべきはウイルスであり、不要な詮索や誹謗中傷などにつながるような言動や行動などが起きないように、引き続き、正しく恐れ、適切な対策をとり、良識ある行動をとることで、新型コロナウイルスの感染拡大阻止に力を合わせてまいりましょう。